

6. 地球温暖化対策

地球温暖化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中濃度が増加し、これに伴って太陽からの日射や地表面から放射する熱の一部がバランスを超えて温室効果ガスに吸収されることにより、地表面の温度が上昇する現象です。

急激な気温の上昇に伴う地球環境影響としては、

- 1 海面水位の上昇にともなう陸域の減少
- 2 豪雨や干ばつなどの異常現象の増加
- 3 生態系への影響や砂漠化の進行
- 4 農業生産や水資源への影響
- 5 マラリヤなど、熱帯性感染症の発生数の増加

などが挙げられており、私たちの生活へ甚大な被害が及ぶ可能性が指摘されています。

地球温暖化対策実行計画の目的

市が一事業者・一消費者としての立場から、環境保全のための行動計画を自ら率先して実行することで、環境負荷の低減を図るとともに、市の事務及び事業に関し、温室効果ガス排出抑制等の措置をすることで、地球温暖化対策の推進を図ります。

また、関係機関とともに啓発することにより、市民、事業者の自主的な取組の促進に資することを目的とします。

基準年度（平成11年度）と平成20年度実績について

平成11年度（基準年度）	3,569トﾝ／CO ₂	
平成20年度	3,307トﾝ／CO ₂	
差引削減量	△262トﾝ／CO ₂	7.34%削減

二酸化炭素排出量等の推移について

	(排出量)	(前年度推移)	(増減累計)
平成11年度	3,569トﾝ／CO ₂	0トﾝ／CO ₂	0トﾝ／CO ₂
平成12年度	3,545トﾝ／CO ₂	△24トﾝ／CO ₂	△24トﾝ／CO ₂
平成13年度	3,422トﾝ／CO ₂	△123トﾝ／CO ₂	△147トﾝ／CO ₂
平成14年度	3,416トﾝ／CO ₂	△6トﾝ／CO ₂	△153トﾝ／CO ₂
平成15年度	3,515トﾝ／CO ₂	99トﾝ／CO ₂	△54トﾝ／CO ₂
平成16年度	3,503トﾝ／CO ₂	△12トﾝ／CO ₂	△66トﾝ／CO ₂
平成17年度	3,481トﾝ／CO ₂	△22トﾝ／CO ₂	△88トﾝ／CO ₂
平成18年度	3,414トﾝ／CO ₂	△67トﾝ／CO ₂	△155トﾝ／CO ₂
平成19年度	3,480トﾝ／CO ₂	66トﾝ／CO ₂	△89トﾝ／CO ₂
平成20年度	3,307トﾝ／CO ₂	△173トﾝ／CO ₂	△262トﾝ／CO ₂

二酸化炭素排出状況について

- ・平成18年度も目標の5%削減、△178トン/CO₂までは、達成されませんでした。削減目標量の87.07%（155トン-CO₂/178トン-CO₂）にとどまっています。
- ・平成19年度は基準年度比で△89トン/CO₂、2.49%削減に留まっています。これは公共施設における電気使用量等が増加した事による影響が大きいと思われます。
- ・平成20年度は、電気使用量等の削減努力により二酸化炭素排出量が、△262トン/CO₂削減され目標値の5%をクリアし、7.34%削減することができました。

グリーン購入の実績について

われわれの経済活動においては、地球の貴重な財産である資源やエネルギーを消費していることを認識し、物品等の調達に当たっては、次の基本原則に基づき、性能、機能、品質、価格に加え、環境への負荷を考慮して、調達の目的に支障がない範囲で、環境負荷の低減に資する物品等(以下「環境物品等」という。)の調達に努めております。

なお、環境への負荷の評価については、製造者や販売者から提供される情報や第三者機関が認証する「環境ラベル」(エコマーク、グリーンマーク、省エネルギーラベル、国際エネルギースターロゴ等)を参考にしております。

平成15年度から平成20年度までのグリーン購入実績状況

	(消耗品費)	(印刷製本費)	(備品購入費)	(合計)
平成15年度	13.89%	37.51%	19.28%	20.81%
平成16年度	19.98%	42.74%	5.20%	25.24%
平成17年度	18.25%	48.65%	0.60%	12.53%
平成18年度	20.52%	52.03%	1.32%	18.97%
平成19年度	23.61%	48.42%	11.58%	29.45%
平成20年度	19.53%	49.16%	6.36%	26.56%